

1 沿革

当センターの業務は、以前衛生部所屬の衛生研究所公害研究部で行なわれていたが、公害の増大・深刻化とともに昭和45年10月同公害研究部は発展的に廃止され、県民生活部所屬の独立機関として公害センターが設置された。

設置の根拠は、埼玉県行政組織規則に基づくもので、地方機関として設置されている。

当初は、所長（県民生活部長兼務）以下13名の職員編成で大宮市内の旧衛生研究所構内の仮庁舎において業務を開始した。同時に新庁舎建設のため設計作業を進め昭和45年度において実施設計を完了した。

昭和46年度において建設工事を完了、昭和47年5月新庁舎へ移転現在に至っている。

昭和43年11月 衛生研究所内に公害研究部を設置する。

昭和45年10月 衛生研究所公害研究部を廃止、公害センターを設置し、1課1部（2科）を置く。

昭和46年 5月 テレメーター準備室を設置し、1課1部（2科）1室とする。

昭和47年 5月 テレメーター準備室をテレメーター室とし、研究部に第三科を設置、1課1部（3科）1室とする。

昭和48年 7月 研究部を廃止、次長制を採用し、大気騒音部（2科）、水質部（2科）を設置し、1課2部（4科）1室とする。

2 庁舎

(1) 庁舎の設置 浦和市大字上大久保字東639番地1



交通機関：国鉄京浜東北線北浦和駅下車 西口から埼玉大学行バス厚生短大入口下車徒歩2分

(2) 庁舎等の概要

敷地面積 13,200 m²

構造 本館 鉄筋コンクリート造り4階建
管理棟及び車庫 鉄筋コンクリート造り平屋建
薬品庫 ブロック造り平屋建

建築面積	本館延	5,230.33 m ²
	内訳 1階	1,359.04 m ²
	2階	1,286.79 m ²
	3階	1,195.50 m ²
	4階	1,195.50 m ²
	塔屋1階	155.25 m ²
	塔屋2階	38.25 m ²
	管理棟及び車庫	483.80 m ²
	薬品庫	24.00 m ²
	合計	5,738.13 m ²

起工 昭和46年6月23日

竣工 昭和47年3月25日

設計 株式会社 石本建築事務所

監理 埼玉県土木部宮籍課

施工 株式会社 竹中工務店

大栄電気株式会社

第一工業株式会社

東京ガス株式会社

川崎重工株式会社

株式会社日立製作所

神田通信機株式会社

工事費 701,817,210円

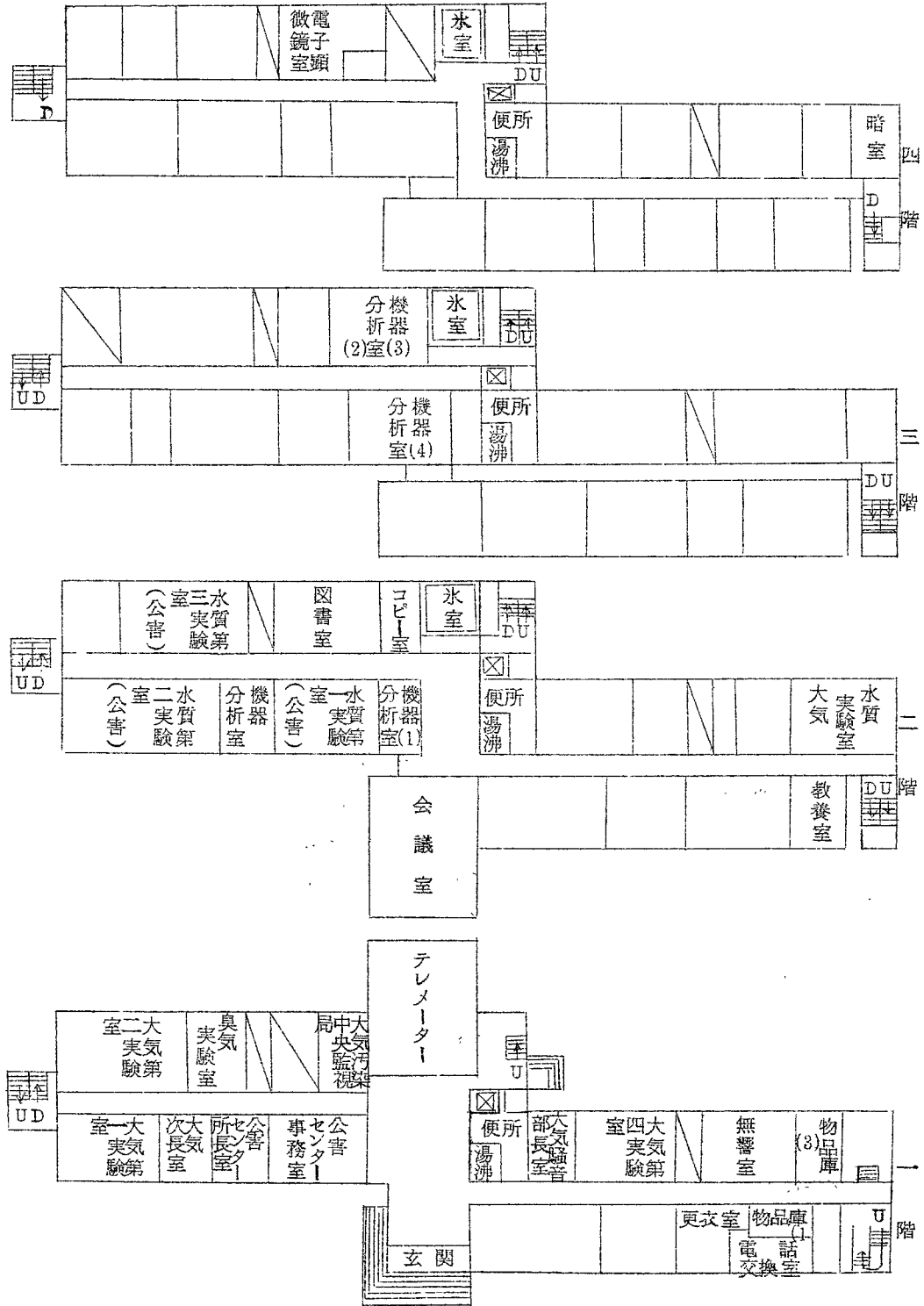
(テレメーター装置の工事費を含む。)

初年設備費 126,000,000円

内訳 衛生研究所 80,000,000円

公害センター 46,000,000円

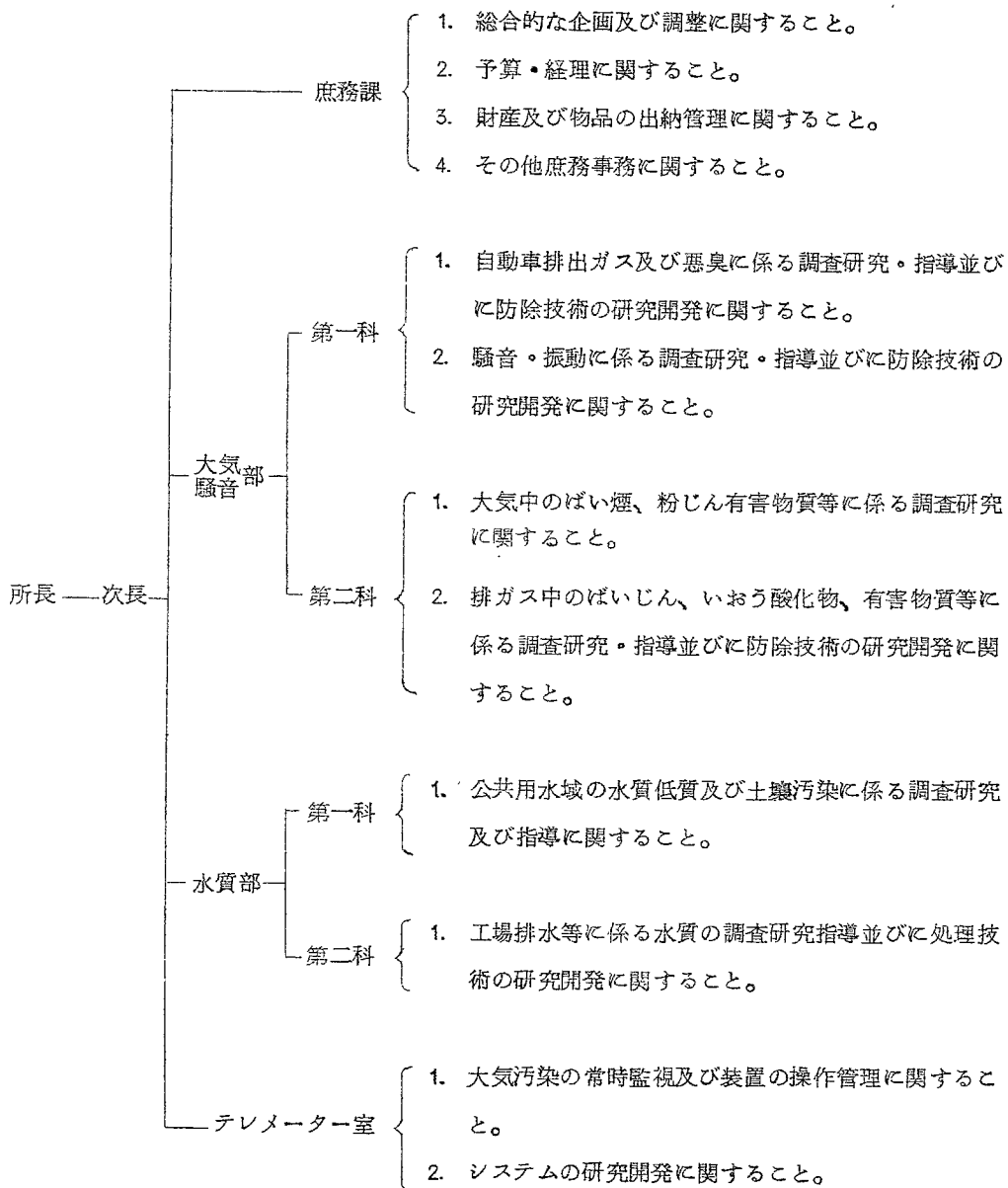
庁舎平面図（本館）



3 主要機器

1. 大気汚染測定機		セオドライト	1式
大気汚染自動記録計	23台	臭気濃縮装置	1式
オキシダント連続測定記録計	17台	排気ガス測定装置	1式
窒素酸化物測定記録装置	16台	硫黄酸化物測定記録装置	3式
全炭化水素測定機	16台	オゾン測定機	2台
一酸化炭素分析装置	6台	振動測定記録装置	1式
デジタル粉塵計	12台	油分分析装置	1式
大気汚染測定車	1台	煙道中SO ₂ ガス濃度計	1台
2. 気象測器		4. 分析機器	
紫外線自動測定記録装置	6台	重油イオウ量測定装置	1式
テレタイプ受信装置	1台	分光光度計	1台
気象模写受画装置	1式	ポーラログラフ	1式
微風向風速計	22台	赤外線ガス分析計	2台
自記温湿計	9台	低温灰化装置	1式
3. 測定機器		原子吸光分光光度計	1式
デジタル粉塵自動記録装置	1式	ガスクロマトグラフ	5式
交通量パターン記録計	1台	弗素ガス自動分析装置	1式
炭化水素自動測定装置	2式	螢光X線分析計	1式
一酸化炭素分析計	1台	水銀分析装置	1式
イオンメーター	1式	酸素ボンベ燃焼装置	1式
データレコーダー	1台	ガスクロ検出器	1個
一酸化炭素自動測定機	2台	試料交換器	1台
オキシダント計	1台	軽油分析機	1式
窒素酸化物測定機	1台	振動分析装置	1式
硫黄酸化物測定機	1台	いおう分析装置	1式
亜硫酸ガス測定機	2台		
デジタル騒音計	1台		
中央値演算装置	1台		

4 組 織



6 予 算（昭和48年度）

(1) 歳 入

款 項 目	節	決 算 額	備 考
6 使用料及び手数料		420,850円	主に市町村からの依頼による検査手数料である。
2 手 数 料		420,850	
1 総務手数料		420,850	
	4 県民生活手数料	420,850	

(2) 歳 出

款 項 目	節	決 算 額	備 考
2 総 務 費		54,619,260円	
2 企 画 費		1,013,727	
2 計画調査費		1,013,727	
	9 旅 費	192,977	
	11 需 用 費	820,750	
3 県民生活費		53,605,533	
3 公害対策費		53,605,533	
	7 賃 金	703,900	
	8 報 償 費	50,000	
	9 旅 費	850,997	
	11 需 用 費	5,925,988	
	12 役 務 費	1,491,968	
	13 委 託 料	28,406,000	
	14 使 用 料 及 び 賃 借 料	33,480	
	15 工 事 請 負 費		
	18 備 品 購 入 費	16,105,200	
	27 公 課 費	38,000	

(昭和48年度)

部	課室	科	職名	氏名	事務分担	
大気騒音部	所		長	白沢忠雄	所内総括	
	次		長	弓削清一郎	所長補佐	
	庶務課 (4)		庶務課長		渡辺鉄雄	課内総括・予算
			主任		松崎秀夫	経理・福利厚生
			主任		斉藤勇	自動車管理・運転
			主事		上田文子	庶務・経理
	大気騒音部長			川瀬善一	部内総括	
	第1科 (8)		第1科長		北野拓	科内総括
			技師		昆野信也	自動車排ガス・悪臭・光化学物質検査・研究
			技師		新井妥子	"
			技師		松岡達郎	騒音・振動試験
			技師		小島晴美	自動車排ガス悪臭・光化学物質検査・研究
			技師		横関博美	騒音・振動試験
			技師		金子安夫	自動車排ガス・悪臭・光化学物質検査・研究
			技師		野辺博	"
	第2科 (7)		第2科長 (兼)		川瀬善一	科内総括
			主任		新井真杉	大気汚染検査・研究
			技師		水上和子	"
			技師		竹井利勝	"
			技師		吉田康夫	"
			技師		長田泰宣	"
			技師		長島藤太郎	大気汚染検査・研究補助
	水質部長			和田雅人	部内総括	
			第1科長		村岡一郎	科内総括
			技師		渋谷武一	河川水・水質検査・研究

部	課室	科	職名	氏名	事務分担
水質部 (15)	第1科 (7)		技師	須貝敏英	河川水・水質検査・研究
			技師	大淵康彦	〃
			技師	早船健司	〃
			技師	小川原妙子	〃
			主事補	木村久夫	〃
	第2科 (7)	第2科長 (兼)	和田雅人	科内総括	
		主任	中村雅隆	工場排水水質検査・研究	
		技師	伊藤誠一郎	〃	
		技師	谷口通朗	〃	
		技師	山口明男	〃	
		技師	植野裕	〃	
	テレメータ 室 (4)	技師	吉原ふみ子	工場排水水質検査・研究補助	
		テレメータ 室 長	茂木正一	室内総括	
		技師	今関鎮徳	テレメータ解析・研究	
		技師	五井邦宏	〃	
	技師	湯沢修二	〃		

職員の転出及び退職者

区分	職名	氏名	転出先	転退職年月日	備考
転出	技師	山田文子	大宮保健所	4.8.11.1	